



◎ 幹事囑託

本會調査部事務激増の爲に今回内務事務官飯沼一省氏を本會の幹事に囑託した、氏は内務省都市計畫課に在勤して専ら都市計畫事業に對する街路の改良を調査研究されて居る、殊に街路改良事業の計畫に付人の最も苦心する財源に就て造詣が深い、雜誌「都市公論」に於て受益者負擔金制度に就て數百頁の論説を發表されたことなどは、其の蘊蓄の一部に過ぎないのであらうが、實に吾人の敬服する所である。

道路改良費財源に就て適當な計畫を樹立せなければならぬ使命をもつ、本會調査部に氏を迎へたことは本會の幸福

とする所である、公務多端の折柄ではあるが本會の爲否な我國路政の爲に一臂の力を垂れて貰ひたい。(た)

◎ 道路法改正の陳情

去る十月十五日から三日間横濱市に於て關東各市協議會を開いて市政事務に付各種の事項を協議したが、道路法の改正に付左の建議案を内務大臣に提出した。

道路法中一部改正の件

道路法第十七條の但書中「勅令を以て指定する市」とあるを「市制施行地に在りては」と改正せられむことを要望す

理由

都市に於ける道路は其の生命にして街衢の整備上統一せる管理を要す現行道路法は六大都市を除くの外市街地の國縣道も府縣知事を管理者とせられたるも前述の理由に依り市制施行の市街地に於ける市内の國縣道の管理者は其の市長を以てするの適當なるを信するに由る

右の建議に就ては内務省土木局に於て審議されたが、當局の語る所に依れば、市の希望は尤なことであつて希望通りに修正することは容易であるが、若し改正するとすれば、從來府縣が負擔して居た其の道路の費用を市が當然負擔せなければならぬことゝ爲る、此點を承知の上で提出した建議案かどうかが疑はしい、從來も此種意見は澤山あつたがいつも費用負擔のことで改正の運にならなかつたのであると言つて居る。(た)

◎工事請負に關する危険負擔の請願

日本土木建築請負業者聯合會々長清水釘吉氏から、十月二十一日付で左の請願を提出した。

工事請負危険負擔之儀に付請願

請願之要旨

一 不可抗力に原因する危険は請負人の負擔より免除せられたき事

二 工事竣工届出の日より起算し通常検査を終了し得べ

かりし期間を経過したるときは凡ての危険負擔を全免せられたき事

理由

政府御施行の工事を請負ふ場合其契約書に原因の何たるを問はず物件引渡を了する迄の危険は請負人の負擔とする條文有之候處右は極めて過重の責任を負荷するものにて殊に不可抗力に因する危険の如き請負人の不注意怠慢と何等の因果關係を有せざるに拘はらず尙ほ且其責任を負擔する特約條件に至つては双務契約の本質より觀るも將又請負人の他に幾多の責務ある上より考ふるも到底堪へ得る處にあらざるのみならず、工事竣工引渡を爲すに當つても擔任官の都合に依り通常検査終了すべかりし期間を遷延したる場合と雖も其間の責任を免脱し能はざる等の約旨は全然不合理にして其他契約の全部に亘り註文者の利益を唯一の目的として成案せられたるものと思考致候

熟ら案するに工事請負の契約は所謂特定せる物權の設定を目的とするものにして、双務契約に外ならず而して其特定工事が債務者即ち請負人の責に歸す可からざる事由に因りて滅失毀損したる場合其滅失毀損が債權者即ち註文者の負擔に歸すべきことは註文者

が其物權の設定契約と同時に特定物の所有權を取得する結果として假令物件の請負人の手裡にあると否とを問はず其物の増價に因る物益を獨占する以上之より生ずる損失を負擔するは當然の事由と思惟致すのみならず民法第五百三十四條の規定も有之然るに契約書中請負人に絶對的危險を負擔せしめられたる爲め天災事變等請負人の責に歸す可からざる事由に原因するもの迄も危險を負擔せざるべからざることとなり實に絶大無限の責務と謂はざるべからず如斯は法理に背馳せる不當の特約條件にして請負人の等しく畏懼する處に有之候此を以て近來註文者と請負人の間に介在し公正適切の見地より斯道専門家の集團たる建築學會、日本建築士會、建築業協會、日本建築協會の聯合會に於て反覆討究の上作成せられたる工事請負契約書案に因るも其第二十二條に於て不可抗力の場合に請負人の責任より除外せられ現に民間工事に之を採用せられつつある次第にして素より當然の事理と存候間請負人が普通に負擔すべき他に重大責任の存在せるを洞察せられ標記の條項に對しては速かに契約書案より削除被成下候様御賢慮相仰度全國土木建築請負業者四千五百餘名總會一致の決議に依り此段請願候也

◎東京市の惡路評

惡路、その聲を聞けば直に東京市の道路を想ふ、否な東京市の道路は惡道路の代名詞だ。斯ふ考へた事もあつたが近頃は随分改良された路面を觀るやうになつた。併しながら全市に互つての完成を告げるまでには藉すに長年月を以てしなげればならぬ。

同業東京市政調査會が此惡路に關する中等學校生徒の希望を募集したそうであるが、其の希望は絶望的の嘆聲もある「降れば泥濘降らねば砂塵、道路工事はわが道」此狂歌こそ確かに皮肉である。謹で道路局長牧博士に呈上して置く。

衛生上の見地から改善を希望するものが大多数を占めたやうであるが、呼吸器病の誘發から交通危險自防上よりする神經衰弱、是も確に一見識たるを失はない。流石に女子からは幼者老者に對する同情の下に改善を要求して居る。道路幅員の擴張、車道人道の區別、路線の整理、路面鋪裝、清潔の維持、街燈の施設、道路掘返工事の措置、街路樹の植栽と次から次へ専門家らしいことを言つて居る。

中等學校の生徒に此知識を與へたのは全く惡路の御蔭である。喜で居るのが能であるまい。(一)